



あな
たの
支
援

未
来に
つ
な
が
る

TOHOKU UNIVERSITY FUND REPORT 2023

東北大学基金レポート
(2022年度の活動記録)

東北大学は世界と伍する大学として
新たなステージを目指します。
皆さまからのご支援に心から感謝申し上げます。



皆さまには日頃より東北大学の活動にご理解、ご支援をいただきまして、厚く御礼申し上げます。本学は長い歴史と伝統を持ち、優れた教育を実践し多くの研究成果を生み出していますが、常に変化し続ける国際社会の中で世界トップレベルの大学となるためには、より高い次元での競争力が求められます。教育研究施設の充実、革新的な研究領域・研究成果の創出、グローバルかつ多様・多彩な人材育成、産学連携の推進、社会問題への取組など数多くの課題がありますが、それらの解決の鍵となるのは、皆さまからの本学に対するご支援です。多くの方々からのご支援により形作られた東北大学基金は皆さまからのエンゲージの一つのあらわれであり、私たちの活動を支える大きな力となっています。東北大学基金には、皆さまからの多くの期待や応援が詰まっています。2022年度においても、本当に多くの方々から応援の気持ちをお寄せいただきました。その篤い想いにお応えし続けるべく、我々、より一層励んで参りますので、引き続き、東北大学をご支援・応援していただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

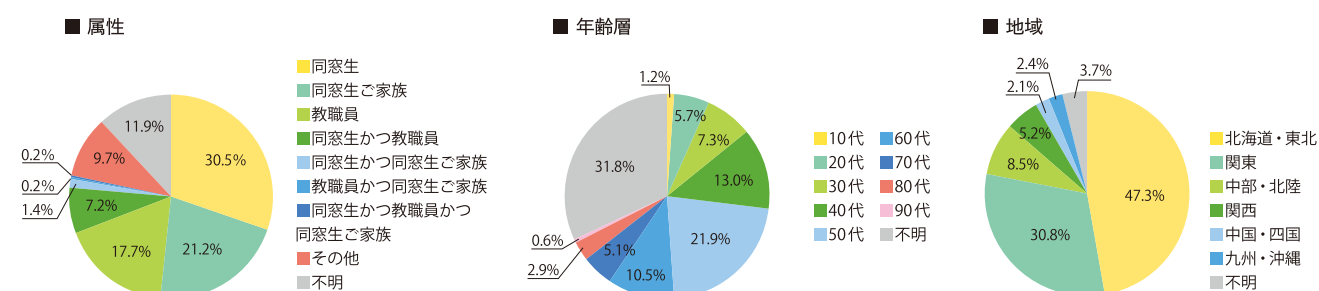
東北大学総長 **大野英男**

2022年度 東北大学基金へのご寄附

東北大学基金に貴重なご寄附をお寄せいただき、誠にありがとうございます。
2008年度創立から2022年度までの東北大学基金へのご支援累計は以下となりました。

東北大学基金へのご支援累計 (2008年度創立～2022年度)		2022年度 東北大学へのご寄附詳細	
累計総額	6,877,056,701円	累計総額	876,074,051円
累計総件数	40,577件	累計総件数	10,628件

東北大学基金は皆さまからのご寄附により支えられています。



未来への希望を育む研究・教育の拠点として

東北大学へのご寄附に対して、心からの感謝の気持ちをお伝え申し上げます。皆さまのご支援は、私たちの研究・教育活動にとって非常に重要です。社会的な課題の解決に向けた研究の取組みによる持続可能な未来社会の実現、革新的な教育プログラムや施設の整備、学生たちが創造力やリーダーシップを発揮できる環境を提供するための貴重な資源となり、研究者や教育者が創造性を発揮し、社会に対して有益な成果を生み出すための基盤を築く上で大きな役割を果たしています。また、寄附者の皆さまのお気持ちを大切にし、そのご支援を最大限に生かすために、私たちは厳しい透明性と責任をもって本基金を運用しています。皆さまの信頼に応えるべく、基金の活用方法を追求し、研究や教育の質を向上させるための取組みを行っています。今後も、皆さまからのご支援を有効に活用し、研究者や学生たちが成果を生み出し続けられる環境を整えることに全力を尽くしてまいります。ご支援いただいた皆さまのお気持ちに応えるべく、東北大学は常に向上心を持ち、社会に貢献する使命を果たしてまいります。

東北大学理事（基金担当） **富永 悌二**

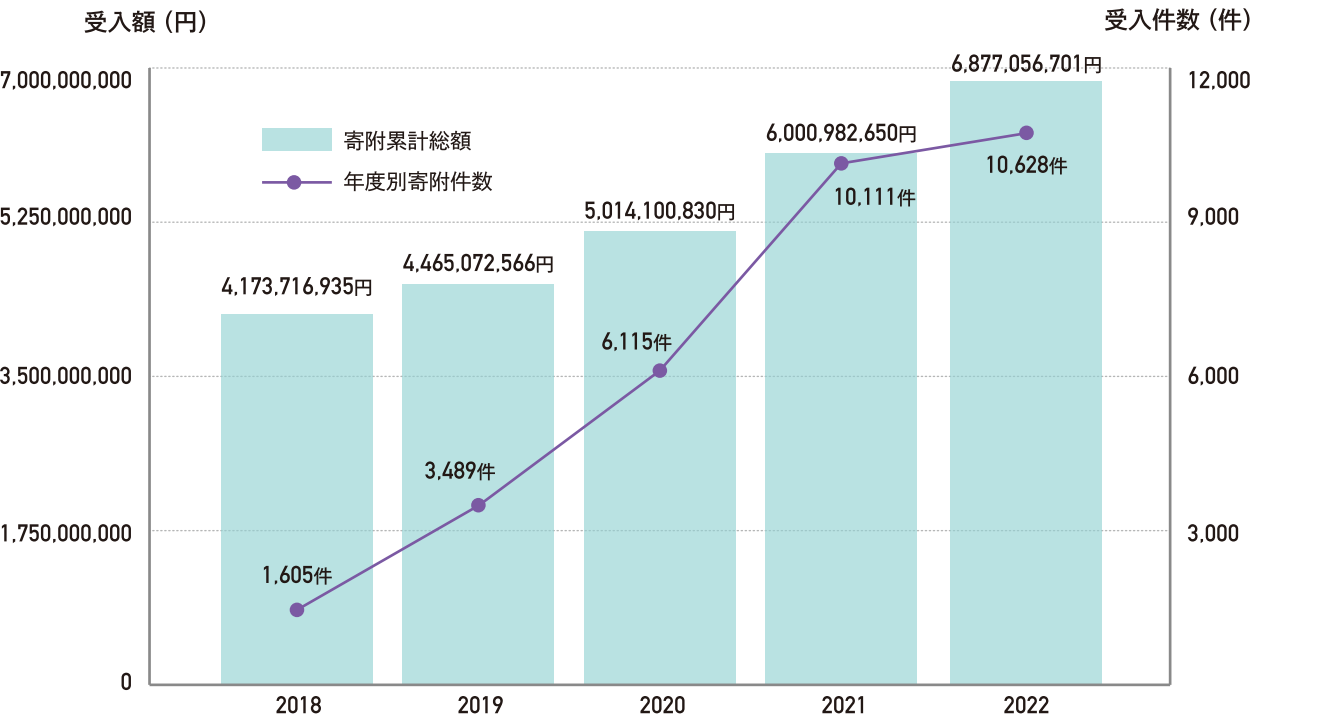


2022年度寄附受入内訳

2022年度は総額 **876,074,051** 円をご寄附いただきました。

一般基金	■ 一般基金	5,003 件	524,427,233 円
	■ 古本募金	150 件	314,214 円
	■ リユース募金	8 件	16,344 円
	■ 修学支援基金	463 件	22,754,710 円
特定基金	■ 博士課程支援基金	103 件	4,460,000 円
	■ 萩友会支援基金	1,163 件	1,875,500 円
	■ 学友会支援基金	793 件	6,354,843 円
	■ 減災教育研究助成基金	2 件	501,000 円
	■ 知のフォーラム支援基金	17 件	9,533,000 円
	■ 男女共同参画推進基金	10 件	3,484,538 円
	■ 震災復興支援基金	15 件	55,000 円
	■ 青葉山新キャンパス整備基金	18 件	182,000 円
	■ 原子力災害からの復興に向けた支援基金	8 件	157,000 円
	■ 畑井メダル基金	4 件	43,153 円
	■ 研究者育成支援基金	23 件	1,719,000 円
	■ スタートアップ事業化支援基金	21 件	1,266,000 円
	■ 大内国際交流支援基金	4 件	4,000 円
	■ 環境DNAを用いた魚類調査によるビッグデータ「ANEMONE DB」支援基金	4 件	675,000 円
	■ 研究活動支援事業	9 件	148,526,760 円
	■ 文学部・文学研究科 文学教育研究支援基金	93 件	3,535,040 円
	■ 教育学部・教育学研究科 みらいの教育研究支援基金	32 件	435,551 円
	■ 法学部・法学研究科 法学教育研究支援基金	70 件	12,666,000 円
	■ 経済学部・経済学研究科 みらい創造基金	228 件	5,215,791 円
	■ 理学部・理学研究科 理学教育研究支援基金	122 件	3,212,696 円
部局特定基金	■ 医学部・医学系研究科 未来医療への22世紀基金	158 件	18,839,025 円
	■ 歯学部・歯学研究科 歯学教育研究支援基金	103 件	949,077 円
	■ 薬学部・薬学研究科 薬学教育研究支援基金	94 件	3,062,000 円
	■ 工学部・工学研究科 未来への挑戦基金	187 件	23,343,569 円
	■ 農学部・農学研究科 農学研究科教育研究支援基金	69 件	2,153,560 円
	■ 情報科学研究科 情報科学の未来基金	46 件	386,000 円
	■ 生命科学研究科 生命科学教育研究支援基金	40 件	1,404,897 円
	■ 環境科学研究科 教育研究支援基金	8 件	201,384 円
	■ 医工学研究科 教育研究支援基金	6 件	320,000 円
	■ 金属材料研究所 材料科学研究教育助成基金	92 件	641,378 円
	■ 加齢医学研究所 スマート・エイジング未来基金	7 件	530,656 円
	■ 流体科学研究所 流体科学支援基金	3 件	61,000 円
	■ 電気通信研究所 インタラクションの森基金	39 件	2,883,000 円
	■ 多元物質科学研究所 未来につなぐ“モノ”づくり基金	65 件	2,370,633 円
	■ 災害科学国際研究所 災害研究の英知を次代へ基金	38 件	4,349,300 円
	■ 学術資源研究公開センター 植物園未来基金	26 件	149,000 円
	■ 東北大学総合学術博物館基金	14 件	260,000 円
	■ 未来科学技術共同研究センター 産業創出支援基金	3 件	5,705,740 円
	■ 東北メディカル・メガバンク機構 地域とToMMoに基金	104 件	3,326,389 円
	■ 学際科学フロンティア研究所 学際科学若手研究者支援基金	5 件	140,000 円
	■ 東北大学附属図書館 図書館のみらい基金	258 件	2,472,270 円
	■ 東北大学病院 みんなのみらい基金	178 件	23,649,800 円
クラウドファンディング	■ クラウドファンディング	722 件	27,461,000 円
合 計		10,628 件	876,074,051 円

過去5年の寄附受入推移



寄附者顕彰（2008年度創設～2022年度）

賞	個人	法人・団体	個人数（累計）	法人・団体数（累計）
栄誉功労賞	3,000 万円以上	1 億円以上	10	4
特別功労省	1,000 万円以上	5,000 万円以上	25	7
功 労 賞	100 万円以上	1,000 万円以上	210	24
特別功績賞	50 万円以上	500 万円以上	196	26
功 績 賞	10 万円以上	100 万円以上	1,881	82

（2023年3月末現在）

【報告】令和4年度「東北大学基金 感謝のつどい」を開催しました

2022年9月3日（土）、片平キャンパスにて「東北大学基金 感謝のつどい」を開催しました。
「感謝のつどい」は功績賞以上を受賞された方をお招きし開催するもので、今回で10回目の開催となります。

片平さくらホールにて開催された「感謝のつどい」では、61名の方にご来場、84名の方にオンラインにてご参加いただきました。
昨年度の寄附に関する収支や主な取組みの報告と2021年度に実施した「学生チャレンジクラウドファンディング『ともに・プログラム』」より、2つのプロジェクトの実施報告が行われたほか、創立115周年・総合大学100周年を記念し、野家啓一名誉教授より「草創期東北大学と＜総合知＞の理念」と題し、“総合制”を志向してきた本学創設時からの歴史や、“総合知”の役割等について、ご講演いただきました。
また、終了後には、東北大学史料館などをめぐるキャンパスツアーを開催。42名の方にご参加いただき、ご好評をいただきました。



会場の様子

2022年度 TOPICS

東北大学基金のTOPICS

2022.4 ▶▶▶ 2023.3



※1 学生の学修・研究を支援

2022年度 支援実績

「東北大学 元気・前向き奨学金^{※2}」奨学生数：23名 ※2 修学支援基金の奨学金制度の呼称
 【主な支援内容】給付型奨学金の支給…P10

「グローバル萩博士学生奨学金」奨学生数：176名（うち東北大学基金より71名を支援）
 【主な支援内容】給付型奨学金の支給…P8

東北大学全体のTOPICS

2022.4 ▶▶▶ 2023.3

4月

5月

9月



七大学優勝旗授与

10月



国際祭りの様子

2月

3月

未来を拓く東北大学

— 建学理念を進化させた新たな挑戦 —

東北大学は世界最高水準の研究大学を目指しています。

「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」の建学の理念を礎として、

知の創出 (Impact)・人材の育成・投資 (Talent)・社会価値の変革と挑戦 (Change) を目標に掲げ、
世界に開かれた創造のプラットフォームとなり、持続可能な未来の実現にむけて動き出します。

Vision

知の創出 (Impact)

- 学術的・研究インパクト
- 地球規模課題の解決
- レジリエントな社会の実現

人材の育成・投資 (Talent)

- 多彩な人材の受け入れ
- 自己実現を促す魅力ある環境づくり
- 活力ある未来社会を担う人材の育成

社会価値の変革と挑戦 (Change)

- 包括的国際化の推進
- 卓越性と多様性の追求
- 持続性と成長への挑戦

Impact

知の創出

東日本大震災からの復興過程における課題解決の経験を通し、多様なステークホルダーとともに社会的使命を共有することで生まれた研究の卓越性と多様性を力として、研究成果と未来を変革する社会価値を創出し、地球規模課題の解決とレジリエントな社会の実現に貢献します。

関連基金のご紹介

01 次世代のスマート・リサーチ・コンプレックス形成基金

次世代放射光施設「Nano Teras (ナノテラス)」を中核として、企業の研究拠点が集積するスマート・リサーチ・コンプレックスを構築。産学官金のヒト、データ、知が集結し、日本の新たな価値を共創する新たなシステムを形成、日本の研究開発力と国際競争力の強化に貢献していきます。



https://www.kikin.tohoku.ac.jp/project/support_the_project/smart-research-complex



02 スタートアップ事業化支援基金

新産業創出や地域活性化が求められる中で、社会変革の原動力となるスタートアップの創出とアントレプレナーシップ育成の重要性が増しています。2020年10月に東北大学「スタートアップ・ユニバーシティ宣言」を行い、①東北大学版EIR (住み込み起業家) 制度、②東北大学アクセラファンド、③東北大学スタートアップ・アルムナイの組織化の3つの施策を柱とする東北大学独自のベンチャー創出支援パッケージを創出し、取組みを強化しています。



https://www.kikin.tohoku.ac.jp/project/support_the_project/startup



Talent

人材の育成・投資

開放性と多様性を追求し、さまざまな社会的・文化的背景を持った多彩な才能を受け入れ、その個性を尊重するとともに、一人ひとりの成長と自己実現を促す魅力ある環境を作り上げることで活力のある未来社会を担う人材を育成します。

関連基金のご紹介

01 研究者育成支援基金

研究者育成支援基金は、学生および若手研究者の潜在能力を開花させイノベーション創出の中核となりうる人材育成のための研究助成や研究者としての能力向上に対する支援を実施しています。

02 博士課程支援基金

「大学と社会との融合による人材育成システム」を構築し、社会変革を駆動するイノベーション創出に貢献する人材を育成・輩出することを目指し、意欲と能力にあふれる優秀な学生が、本学の博士課程に進学し学術研究に専念できる環境を提供するとともに、日本の科学技術の発展に資する「創造と変革を先導する人材」の育成を目的としています。

【主な支援内容】給付型奨学金の支給 【2022年度支援実績】71名

グローバル萩博士奨学生からの感謝の言葉

この度は、東北大学グローバル萩奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。皆さまからご支援をいただき、勉学・研究に専念することができました。心より御礼申し上げます。博士課程前期2年の課程の最終年度にあたる2022年度は、平安時代から中世に至る王朝物語の考察を中心に研究活動を推進し、修士論文や、研究発表、

論文発表をはじめ、研究成果を着実に挙げることができました。さらに、学会や研究会への参加を通じて、他の研究者との交流を積極的に行い、自身の研究を見つめ直す機会を得ました。今後も、ご支援いただいた皆さまへの感謝を忘れず、自身の研究分野の発展を通じて社会に貢献できる研究者となれるよう、一層励んでまいります。



文学研究科
博士課程前期2年
笠谷 美弥 さん

※学生の学年は2022年度時の学年で表記しております。

Change

社会価値の変革と挑戦

グローバル社会の一員として行動するため、変革と挑戦を価値とした組織体制やシステムを構築し、社会とともに持続的に成長し、卓越性と多様性を追求する新たな大学経営体へと進化させます。

関連基金・関連事業のご紹介

01 ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン (DEI) 推進基金

「東北大学における男女共同参画推進のための行動指針 (2013～2023)」に基づく仕事・学業と生活との両立支援、女性リーダーや次世代女性研究者等の育成をはじめとする各種施策を着実に推進するとともに、「門戸開放」の理念に基づき、国籍、人種、性別、年齢、価値観、障害、性自認・性的指向等にとらわれない新たな共同参画体制へと発展させ、構成員の多彩な能力を最大限発揮できる環境を整備するために、「ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン (DEI) 推進基金」を活用していきます。



https://www.kikin.tohoku.ac.jp/project/support_the_project/tumug



02 海外留学支援事業 (一般基金)

留学による海外渡航費や生活費などを支援する奨学金「東北大学基金グローバル萩海外留学奨励賞」をはじめ、本学への入学が決まった高校生を対象とした「入学前研修プログラム」や、夏休みや春休みの2～5週間を利用して研修に参加する「スタディアブロードプログラム」など、海外留学への積極的なプログラム支援を実施しています。

※海外留学に関する支援内容はP9をご覧ください。

事業報告 学生への支援

海外留学支援

2022年度は前年度に続き、コロナ禍の中での活動を余儀なくされましたが、そのような中でも海外での研究や修学等に目を向け留学などを希望する学生たちの支援を実施してきました。また、2021年度はオンラインでの研修・留学が中心でしたが、2022年度は現地での留学が可能となり、多くの学生たちが海外へと飛び立ちました。

グローバル萩海外留学奨励賞

【主な支援内容】留学による海外渡航費や生活費等を支援 【2022年度受賞者数】21名

「グローバル萩海外留学奨励賞」受賞者からの感謝の言葉

留学先：ロイトリンゲン大学 ESB ビジネススクール（ドイツ連邦共和国）
留学期間：2022年9月5日～2023年2月28日

私の人生の中でもっとも充実した半年間だったと確信しております。経済的負担を過度に心配することなく、充実した留学生活を送ることができたのは、グローバル萩海外留学奨励賞をいただけたお陰であり、寄附者の皆さまには大変感謝しております。

私は、ロイトリンゲン大学 ESB ビジネススクールに留学しましたが、日本からの交換留学生は私一人という環境でした。ESBでは、ほぼ全ての授業が英語で行われており、留学することが義務づけられているため、異文化理解力やコミュニケーション力が非常に高い学生が多かったです。そのような学生と共に学んだことで、自身の異文化理解力やコミュニケー

ション力も渡航前に比べて向上したと自負しております。人格陶冶という目標を掲げて留学に臨んだのですが、多様な人々との交流を通じて、目標をほぼ達成することができたと思います。以前は非常に内向的で、見知らぬ人との交流に抵抗を感じるが多かったのですが、今では新しい人々と出会うことに対して意欲的になることができました。今後は、留学を通じて形成した外向的な人格にさらに磨きをかけ、さまざまな人々と交流していきたいと考えております。また、留学を通じて得た良き友人達とも連絡を取り続け、将来グローバルに活躍する際に再会したいと思っております。



経済学部2年
清水 崇太郎 さん

※学生の学年は2022年度時の学年で表記しております。

入学前研修プログラム

【主な支援内容】AO入試により東北大学への入学が決まった高校生を対象とし、プログラム参加費等を支援
【2022年度受賞者数】51名

「入学前海外研修」による奨学生からの感謝の言葉

この度の研修ではコロナ禍のため経験することのできなかったグローバルな体験をさせていただきました。今回の研修では英語の運用力が向上したことに加え、ハワイ大学の学生達とお互いの文化を話すことで根本的な考え方の違いや文化的背景がもたらす慣習を知ることができ、とても良い時間を過ごすことができました。また、真珠湾訪問では日本においては知り得なかった歴史、現地の人々の感情、アメリカ側

から見た日本軍の姿を学ぶことができました。biodiversity（生物多様性）の授業では外来生物と疎まれる生物が違う場所では在来種として保護されているといったことを学び、環境保護の難しさを考えさせられました。これらの経験は、これからの社会を担う者として自覚を持てるような内容でした。この機会を与え、そして支えてくださりありがとうございました。



2023年度法学部入学
千葉 叶夏子 さん
(岩手県立盛岡第一高等学校出身)

学生の修学支援

東北大学元気・前向き奨学金※

※修学支援基金奨学金制度の呼称

東北大学では学生が経済的な理由により修学を断念することがないよう、返済不要の奨学金制度を設け、学生の経済的支援を実施しています。

経済的困難のある学部学生を対象とした給付型奨学金制度（修学支援基金により支援）
【主な支援内容】給付型奨学金の支給 【2022年度支援実績】23名

「東北大学元気・前向き奨学金」による奨学生からの感謝の言葉

この度は、奨学金という形で修学のご支援をいただき誠にありがとうございます。皆さまのご支援のおかげで経済的な心配をすることなく、学業や研究活動に精を出せることは大変ありがたいことであると感じております。私は生物生産についての学習をしており、食料問題に関する分野で研究を行いたいと考えております。また、今回のご支援を含

め、自分が今まで多くの協力や支援をいただきここまで来られたように、将来は多くの人を支えられるような研究ができるようになります。皆さまのご支援に応えられるよう、在学中は将来に活かすことができるような知識や技術をたくさん身につけたいと思います。この度は本当にありがとうございます。



農学部2年
尾山 大智 さん

※学生の学年は2022年度時の学年で表記しております。

課外活動奨励賞等の授与

2022年度はマスク着用ながらも対面での活動を活発に実施することができるようになりました。東北大学基金では、課外活動を精力的に実施した校友会に所属する団体を含めた以下の学生団体に2022年度課外活動奨励賞を、また企画立案事業に対して助成金を授与しました。

課外活動奨励賞受賞団体 17団体

校友会文化部（8団体）

●写真部 ●落語研究部 ●マンドリン楽部 ●コントラクトブリッジ
●陸前高田応援サークルほかほか ●国際ボランティア団体 As One
●競技プログラミングサークル puzzleknot ●かるた会

校友会体育部（8団体）

●陸上競技部 ●漕艇部 ●応援団 ●ボディビル部
●トライアスロン部
●ソフトボール部 ●人力飛行部 ●東北大学無人航空技術研究会

校友会報道部

企画事業等助成費選出団体 13団体

校友会文化部（4団体）

●マンドリン楽部 ●陸前高田応援サークルほかほか ●SCRUM
●競技プログラミングサークル puzzleknot

校友会体育部（5団体）

●陸上競技部 ●漕艇部 ●応援団 ●オリエンテーリング部
●ソフトボール部

校友会報道部

学部からの推薦（3団体）

●かるた会（工学部） ●Negoistic（法学部）
●東北大学無料法律相談所（法学部）

「課外活動奨励賞」受賞団体からの感謝の言葉

校友会落語研究部

課外活動奨励賞受賞団体に選出していただき大変光栄に存じます。皆さまからのご支援で、3年ぶりに対面で開催した「奥羽越落語発表会」、定期発表会「古典落語発表会」、「追出し落語発表会」に使用する葉書やのぼりを購入させていただきました。また、部員が自分自身の高座を客観的に見直し技術の向上につなげるため、映像記録用ハードディスクを購入いたしました。2022年度はコロナ禍前以上の活発的な活動をしていくうえで足がかりとなるような、実りのある1年に

なつたと感じています。今後は、地域に密着し「伝統芸能としての落語」を重んじる当部の歴史を継承していくのは勿論のこと、近県他大学の落語研究会との交流の活性化や、新たなシステムの練習会の立ち上げ等、今いる部員のカラーを出して新しいことにも挑戦したいと考えています。日本有数の歴史を持つ落研としての誇りと責任をもって、今後も落語を通して元気を届けたいと思います。



事業報告 学生への支援

Tohoku University Giving Campaign 2022 ～あなたの「推し体育部」を応援しよう！学友会体育部応援合戦～

東北大学では学生の活動を支援するため、東北大学学友会体育部を応援するオンラインチャリティーイベント「Tohoku University Giving Campaign 2022」を開催しました。イベントでは、応援したい部活動への投票に加え、応援メッセージを届けたり、支援したい部活に寄附ができたりとさまざまな形で頑張る学生を応援しました。

開催概要

実施期間：
2022年11月19日（土）9：00～11月27日（日）20：59まで
参加団体：東北大学学友会運動部：約40団体
専用ウェブサイト：<https://tohoku-u.giving-campaign.jp/>
運営・共催：株式会社Alumnote（アルムノート）
後援：東北大学学生団体Ryuz

得票ランキング（上位5位まで）	
1位	漕艇部：1,477票
2位	男子ラクロス部：1,455票
3位	剣道部：887票
4位	アメリカンフットボール部：764票
5位	女子ラクロス部：760票

参加総数

11,203名

皆さまからの寄附総額

6,120,343円

主な支援内容

01 応援数はランキング化し、
ランキング上位の団体には賞を用意

獲得した応援数がランキング化され、ランキング上位の団体には協賛企業から活動資金が授与されました。

02 投票のさまざまな場面で賞を設置

応援数だけではなく、「期間チャレンジ賞」、「デイリーチャレンジ賞」を設け、以下のようなさまざまな場面でも協賛企業より活動資金が授与されました。

期間チャレンジ賞一例

- 期間中に幅広い卒業年度の卒業生から最も応援を集めた団体
- 期間中に25歳以下の卒業生から最も応援を集めた団体
- 「1907」番目の応援を獲得した団体
- 期間中に最大寄附金額を獲得した団体 etc…

デイリーチャレンジ賞一例

- その日に最も応援を集めた団体
- その日の正午から30分で最も応援を集めた団体
- その日に卒業生からの応援を最も集めた団体
- 前日からランキング順位を最も上げた団体
- その日に最も寄附者数が多かった団体 etc…

03 その他の支援

①メッセージで応援

投票フォーム内には応援メッセージ機能も完備し、WEBサイトのTOPページ内で紹介しました。

②寄附で応援

投票ページ内の寄附機能を設置し、応援したい団体へ直接寄附ができるようにしました。



WEBサイトイメージビジュアル



※Giving Campaignは、各大学の支援者ネットワークの拡大・活性化と寄附文化醸成を目的に、全国の企業から協賛金募り、イベントに参加した大学関連団体（部活動・サークル・研究室等）を支援する取組みです。

東北大学 Windnauts 支援募金

2022年8月31日（水）にTV放送された第44回鳥人間コンテストの人力プロペラ機ディスタンス部門において、「東北大学Windnauts（正式名：東北大学学友会人力飛行部）」が見事、優勝を果たしました。Windnautsでは、1年に1機製作を行っていますが、1機の製作にかかる費用は、およそ300万～400万円となっており、各部員から徴収している部費や大学からの補助金、OB会からのご寄附や応援してくださる企業様からの支援金だけでは資金が不足している状況でした。彼らの活動を支援するため、東北大学基金では「東北大学Windnauts 支援募金」を立ち上げ、募金の受入を2022年より開始しています。



ご支援件数

123件

ご支援総額

2,147,000円

第74回東北大学祭実行委員会支援基金

東北大学祭実行委員会には、大学祭を運営するにあたり大学側から運営資金が割り当てられていますが、その資金のみで大学祭を開催運営することには限界があり、さらに充実した大学祭をつくるためにはより多くの資金が必要です。例年、広告協賛・物品協賛・企業賛助といった形で企業の皆さまより協賛金をいただき、大学祭を企画・運営していますが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う開催形態の変更や規模の縮小に伴い、協賛金による収入は減少し、さらに感染症対策関連の予算が増加していることから、企業の皆さま、本学卒業生・関係者の皆さま、地域の皆さま、大学祭テーマや実行委員会の活動方針に共感いただけるすべての皆さまに、大学祭運営のためのご支援をお願いいたしました。



ご支援件数

37件

ご支援総額

323,000円

感謝の言葉

東北大学学友会人力飛行部部長の川人です。平素より我々の活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。現在、弊部では2023年7月末に開催予定の「鳥人間コンテスト」出場ならびに優勝に向け、機体製作を進めております。皆さまからいただいたご寄附は、その材料や加工にかかる費用として利用しております。そのおかげもあり、現在の機体製作は順調に行われております。最後にはなりますが、皆さまからのご寄附、大変感謝いたします。これからも鳥人間コンテスト出場ならびに優勝に向け、部員一同尽力してまいりますので、応援のほどよろしくお願いいたします。（2023年3月22日取材）



バルサ材を削りプロペラのリブを製作している様子

感謝の言葉

東北大学祭実行委員会委員長の中根です。第74回東北大学祭は10月30日（日）をもちまして、大盛況の中で無事に閉幕いたしました。日頃より東北大学祭へのご理解とご協力を頂いている皆さまへ厚く御礼申し上げます。コロナ禍における大学祭開催に係る資金難ということがあり、当基金へご寄附いただいた皆さまには感謝してもしきれません。もちろん、感謝のみならず、私達の作り上げた大学祭は、多くの方々に応援されていると大変感じることができ、大学祭を運営していく上で私個人だけでなく委員一同の励みとなりました。改めて、心から御礼申し上げます。現在、東北大学祭実行委員会は第75回の東北大学祭に向けて、準備を開始しております。引き続き、第75回以降の東北大学祭にもご期待いただくとともに、東北大学祭実行委員会の活動についても、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。



東北大学祭実行委員会メンバー

事業報告 学生への支援

ともプロ! 2022

本学が社会と一体となって学生の挑戦を応援する未来共創型クラウドファンディング「ともプロ!」を2022年度も実施しました。このプログラムでは、自分たちが企画した事業やアイデア等の情報を学生自らがSNS (TwitterやFacebook等) を利用して発信し支援を呼びかけ、多くのご寄附を賜りました。



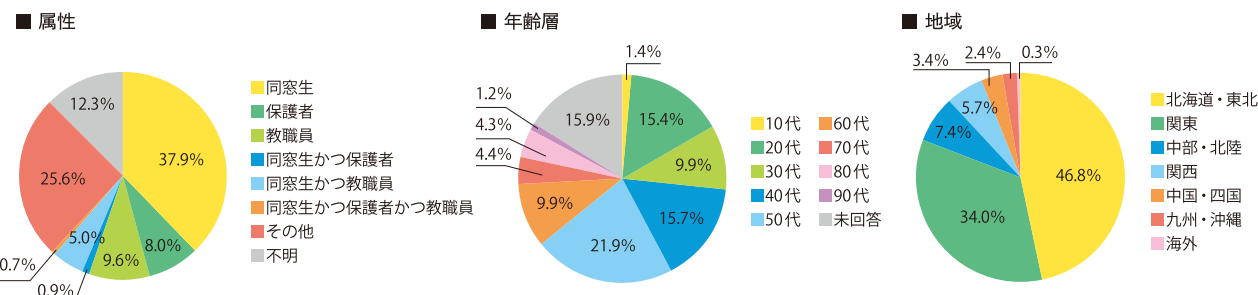
東北大学学生チャレンジクラウドファンディング「ともプロ! 2022」

学生の皆さんからプロジェクトを公募。審査を通過した学生に対して独自のクラウドファンディングプラットフォームを提供し、プロジェクトを実行するための資金を集めました。

実施期間	2022年10月1日～11月30日
目標金額	各プロジェクトにつき最大50万円 (クラウドファンディングで寄せられた資金と一般基金からの助成)
広報媒体	ウェブサイト・SNS (Facebook/Twitter/LINE)・Google広告など

「ともプロ! 2022」へのご支援

ご支援件数 **609** 件 ご支援総額 **6,951,500** 円



各プロジェクトのご紹介

01 ランダウ、リフシツ「理論物理学教程」最新版邦訳プロジェクト

現代物理学史を語るうえで外せず、今もなお世界中の物理学徒に影響を与え続けている理論物理学教程。原著はロシア語邦訳されてからかなり時間が経っており現代の学生とマッチしていない現状です。この現状を打破するため、物理学とロシア語の両方を勉強している有志で、最新版の日本語訳を実施するプロジェクトを立ち上げました。英語を経由せず、ロシア語から直接日本語に訳すことで、このシリーズを書き上げたランダウの意図を漏らさず、精密な日本語版を完成させたいと考えています。



ご支援件数 **72** 件 ご支援総額 **674,000** 円

02 ロープ自走式輸送機「LIFT」～建設現場の輸送を効率よく、安全に～

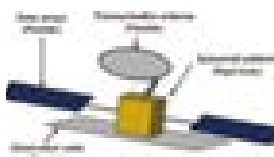
建設業界は少子高齢化に伴う労働力の減少に悩まされています。この課題を解決するべく、私たち有志学生がこれまで独自に開発してきた「ロープ自走式エレベーター」を建設現場で応用するプロジェクトを始めました。この輸送機は短区間の輸送を行えるという特徴を持つため、既存の輸送機がカバーできない領域の輸送を可能にし、少ない労働力で効率の良い安全な揚重作業が実現できます。今後は連携している建設企業様と実際の建設現場で実証試験を行う予定です。



ご支援件数 **73** 件 ご支援総額 **647,000** 円

03 次世代人工衛星・宇宙ステーションの開発をブーストする設計支援 シミュレーションソフトウェアの開発

次世代人工衛星・宇宙船の設計の解析・制御シミュレーション技術をベースに設計効率化を目指すソフトウェアを開発し、ソフト・ハード開発の双方から解析技術にアプローチし、ユーザーリサーチとデモンストレーションによる仮説検証を行います。また、さまざまな宇宙ミッションに応用可能なソフトウェアを構築し、その設計のコスト削減と効率化を実現します。これにより本質的で更に高難易度な技術開発をアシストして、未だ誰も作ったことのないような複雑で高付加価値ミッションを支える人工衛星・宇宙船の実現に繋がります。



ご支援件数 **34** 件 ご支援総額 **277,000** 円

05 学生アイデアで医療者を笑顔に! ～非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV) マスクの負担を軽減～

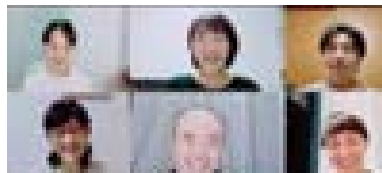
非侵襲的陽圧換気療法 (以下、NPPV) はマスクから空気を送ることで肺を広げて呼吸を助ける治療法です。私たちは医療現場での研修で、NPPVマスクは患者さんが少し顔を動かしただけで簡単にずれてしまい、再装着が医療者の負担になっていることに気づきました。NPPVマスクの装着が医療者の方にとって負担とストレスになっており、改善してほしいとの声から、私たちは、NPPVマスクの改善を目標とし、医療者の業務負担を減らすことを目指します。



ご支援件数 **50** 件 ご支援総額 **399,000** 円

07 研究者の方々に「ほっと出来る時間」を届けたい 看護師がガイドと贈るリスニングアワー

小グループで1時間、互いのストーリーを語り、聴き合うプログラム「リスニングアワー (LH)」。コロナ禍のニューヨークで開発され、国際的に広がっている新しい手法です。参加者の間に、温かなつながりが生まれ、日常からの解放と精神的な安心感が得られます。このLHを活用し、研究に携わる学生・研究者の方達の心のケアを実施することで研究者の方達が更に研究活動を充実させることを目標とします。



ご支援件数 **39** 件 ご支援総額 **524,000** 円

09 ともプロ! プログラム全体を支援

ともプロ全体へのご支援は東北大学基金からの各プロジェクトへの助成や、資金以外の支援を提供するための活動等、本プログラムに係る活動全般に活用しました。

ご支援件数 **186** 件 ご支援総額 **2,731,500** 円

04 「武道留学」という新しい試みで合気道の魅力を発見し、伝える

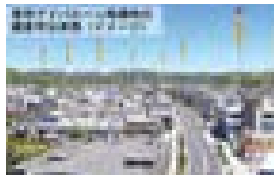
私は合気道が大好きです。道場に住み込んでひたすら稽古に打ち込み、さらに上達したいと強く思うほど好きです。そんな中で武道経験を求めて日本から海外へ飛び出す、謂わば「武道留学」なるものはほとんど前例がないことに気がつきました。そこで2つを掛け合わせて、武道留学として海外の合気道専門道場で稽古をしようと思い立ちました。プロジェクト活動中は日々の活動記録や海外の合気道事情をSNSで発信するほか、それ以外にも合気道の魅力を伝える活動をしていきます。



ご支援件数 **49** 件 ご支援総額 **645,000** 円

06 津波災害の指定緊急避難場所を掲示する専用アドバルーン自動掲揚装置開発

場所の認知度に課題がある津波災害時の指定緊急避難場所 (避難ビル等) から、避難先を広く・素早く・分かりやすく示す専用アドバルーンを緊急時に自動掲揚する装置を開発し、プロトタイプとVR空間での検証を併せて自治体に提示することで産官学での社会実装を進め、津波襲来後の生存者を一人でも多く残すことを目指します。また、通常時の広告媒体として装置の維持管理費を賄い、経済的持続性の高い防災の実現に努めます。東北の経験と知見を日本・世界の防災力向上に活かすべく、将来的には国外での導入を目標とします。



ご支援件数 **60** 件 ご支援総額 **586,000** 円

08 看護師へのアロマセラピー普及プロジェクト

アロマセラピーは、がん患者の身体的・精神的症状の改善効果があると証明されていますが、アロマセラピーをケアとして導入したくても時間・お金・学ぶ機会が不足しているためできないという看護師は多く、実際に活用している人は限られています。私たちは訪問看護師を対象に短時間かつ無料で実臨床に活かせるアロマセラピー講習を行い、医療現場で活用してもらうことで、がん患者のQOL (Quality of Life) 向上を目指します。



ご支援件数 **46** 件 ご支援総額 **468,000** 円

事業報告 国際支援

東北大学では、東日本大震災の経験から災害支援に力を入れています。国際支援といった視点から、
2022年度はロシアによる侵攻を受けたウクライナへの支援、
また大規模地震が発生したトルコ・シリアへの支援を実施いたしました。

■ ウクライナ支援

ロシアによるウクライナ侵攻により、修学や研究の継続が困難な状況にあるウクライナの学生・研究者等に対し、避難受入れ、教育研究環境提供などの支援を実施しております。(2023年度も継続中)



主な支援内容

01 ウクライナ支援募金の設置

ご支援件数 **250** 件 達成金額 **3,970,834** 円

ウクライナ支援募金の詳細はこちら▽
https://www.kikin.tohoku.ac.jp/project/support_for_all/Ukraine



02 ウクライナの学生・研究者、本学研究者家族の受入れ・渡航費支援・研究支援・住居の無償提供 等

03 募金以外のご支援の受入れ (支援者のマッチングなど)

ウクライナから避難した研究者より感謝の言葉

おかげさまで、安全な場所で研究ができており、心から厚く御礼申し上げます。2022年8月に仙台に来てからずっと、やさしい人たちにサポートを受けています。東北の人たちは、地震の経験があるからでしょうか、ウクライナの避難者の気持ちをよくわかっていて

と感じます。私は2023年4月から文学研究科博士課程の学生となり、日本の文学をより深く研究しています。東北大学に来て、ウクライナではアクセスできない研究資料を利用することができます。これからも研究を続けていきたいです。



文学研究科
クラヴェツ・マリヤさん

■ トルコ・シリア地震の調査支援

2023年2月6日、トルコ南東部でM7.8の大地震が発生し、広範囲で甚大な被害が発生しました。本学附置研究所である災害科学国際研究所では発生直後からこの地震に関する調査を開始し、地震発生5日後には解析・調査結果を災害科学国際研究所WEBサイト内にいち早く発信しました。

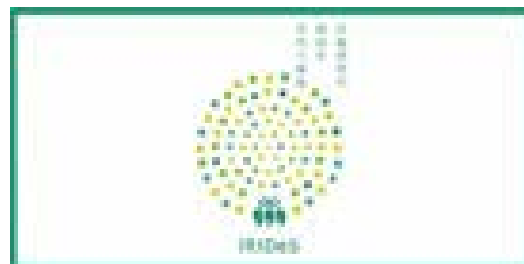


主な支援内容

2023年2月トルコ南東部を震源とする地震に関する調査報告まとめ (WEBサイト)
https://irides.tohoku.ac.jp/research/prompt_investigation/2023turkey-syria-eq.html

■ 災害科学国際研究所
災害研究の英知を次代へ基金

災害科学国際研究所では、災害研究の推進をはじめ、防災に特化した人材の育成、防災教育の周知、産学官・地域コミュニティが連携し社会の防災力向上を目指すため、その原動力となる基金を設置しています。皆さまからのご支援が、未来に起こりうる災害への防災・減災対策の研究・教育に役立てられます。



主な支援内容

https://www.kikin.tohoku.ac.jp/project/support_the_department/irides



事業報告 クラウドファンディング

2022年度は、4件のクラウドファンディングに挑戦しました。 ※うち2件は年度をまたいでの募集

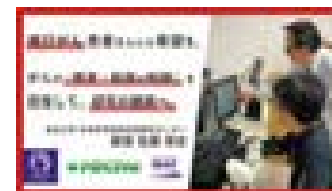
2022年度
実施プロジェクト

- project 01 膵がんを代表とする難治がんに対する治療法の開発を進めるために (1/24～4/22)
project 02 オンライン市民公開講座「知って安心,てんかん」を開催したい! (8/8～9/5)
project 03 現在・未来の在宅医療の課題を、臨床情報のデジタル化で解決したい (12/21～3/21)
project 04 新時代のがん個別化医療につながる治療標的を探索し、がん制圧の未来へ (3/22～6/20)

■ 各プロジェクト紹介

project 01 膵がんを代表とする難治がんに対する治療法の開発を進めるために

がんの発育・転移のメカニズムを研究し、その成果をもとにオリジナルな治療法を開発することをテーマとし、臨床導入に近い治療法の開発を早期に推進するための研究体制を維持するため、クラウドファンディングを実施しました。本プロジェクトの趣意について多くの皆さまからご賛同いただき、東北大学で実施したクラウドファンディングの事業において、最高額となる21,966,000円のご支援を賜りました。



■ 挑戦者: 未来科学技術共同研究センター 教授 佐藤 靖史 ■ 募集期間: 2022年1月24日～4月22日

目標金額 **20,000,000** 件 達成金額 **21,966,000** 円 ご支援件数 **535** 件

project 02 オンライン市民公開講座「知って安心,てんかん」を開催したい!

東北大学病院てんかん科は「てんかん発作があろうがなかろうが、患者さまがベストの人生を」を目標に日々診療にあたっています。てんかんの正しい知識を普及させて、患者さまにとって悲しい出来事を減らしていけたらと考え、第55回日本てんかん学会市民公開講座を、全国から誰でも参加が可能となるようにハイブリットでの開催(現地+ライブ配信)を実現するため、クラウドファンディングを実施しました。皆さまからのご支援により、第一目標である90万円を達成。更にネクストゴールの120万円も到達することができました。



■ 挑戦者: 東北大学病院 ■ 募集期間: 2022年8月8日～9月5日

目標金額 **900,000** 件 達成金額 **1,220,000** 円 ご支援件数 **106** 件

project 03 現在・未来の在宅医療の課題を、臨床情報のデジタル化で解決したい

高齢化によって高まり続ける在宅医療のニーズに対して、さまざまな制約により、在宅医療の現場のデジタル化は進んでいません。在宅医療において患者さま自身から提供される日々のデータと、電子カルテシステムとを連携させるデジタル化を通じて、患者さまの病気の見通しを良くし、また、介護をされる方や医療者の負担を軽くするような、在宅医療のデジタルトランスフォーメーション(DX)につながるか、学術的に確認するための研究を進め、これからの社会に最適な医療を提供するための在宅医療のDX促進に関する研究を、本クラウドファンディングで実施しました。皆さまのあたたかいご寄附と応援を数多く頂戴いたしました。



■ 挑戦者: 東北大学病院臨床試験データセンター特任講師 高田 宗典 ■ 募集期間: 2022年12月21日～2023年3月21日

目標金額 **2,500,000** 件 達成金額 **4,063,000** 円 ご支援件数 **155** 件

project 04 新時代のがん個別化医療につながる治療標的を探索し、がん制圧の未来へ

日本を含む、多くの先進国の死因の1位は「がん」です(出典:厚生労働省 令和3年(2021)人口動態統計)。最近、個々のがんには遺伝子異常やその他の分子の変化の違いによる個性があり、薬剤の効果に個人差があることが明らかになってきています。しかも、その効果はがんの臓器別種類(肺がん、乳がん、大腸がん、膵がん、前立腺がんなど)に関わらず(つまり「臓器横断的」に)、ゲノム内の遺伝子異常や特定の分子異常により規定されることが明らかにされつつあります。新たな研究成果をより精密な個別化医療につなげ、臨床応用に向かうため、それらを診断して有効な抗がん薬を選択する「個別化医療」の開発とその普及啓発を目的としてクラウドファンディングを実施しました。



■ 挑戦者: 東北大学院 医学系研究科教授 石岡 千加史 ■ 募集期間: 2023年3月22日～2023年6月20日

目標金額 **30,000,000** 件

※達成金額・ご支援件数については来年度報告書内でご案内致します。

開催報告

東北大学創立115周年・総合大学100周年記念事業

東北大学は1907年6月に創立され、2022年で115周年を迎えることができました。

また、1922年8月には法文学部設置の勅令が下され、

2022年はいわば本格的に「総合大学」としての枠組みが整って100周年の節目の年となりました。

そこで本学では、2022年を「創立115周年・総合大学100周年」として位置づけ、国内はもとより世界中の同窓生との絆を深め、これからも『知』の成果を通して社会に一層の貢献を行うことを決意し、2022年1月から2023年3月までに以下のような事業を展開しました。

記念式典・記念祭プログラム・関連イベント

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 片平キャンパス「サクラ」ライトアップ (4/9～4/18) | 4 第35回東北大学国際まつり (10月2日) |
| 2 支倉サミット2022 (9月30日) | 5 登録有形文化財を巡るキャンパスツアー (10月2日) |
| 3 東北大学ホームカミングデー：創立115周年・総合大学100周年記念式典・記念祭 (10月1日) | 6 “KIZUNA” スウィーツタウン (10月1・2日) |



創立115周年・総合大学100周年記念式典の様子

東北大学基金の記念事業の取組み

1. 東北大学115周年記念基金の設置

東北大学基金では記念事業に先駆け、2021年12月より「東北大学115周年記念基金」を立ち上げ、これまで積み重ねてきた総合大学としての知を基盤に、その経験と知見を未来へと継承し、世界を先導する研究教育の持続的発展を実現していくため、皆さまにご支援を呼びかけました。

■ 期間：2021年12月1日～2023年3月31日

ご支援件数 **15,302**件 ご支援総額 **1,318,337,181**円



2. 周年記念グッズの展開

「社会との共創」をキーワードに東北大学創立115周年・総合大学100周年を記念し、東北大学では様々な周年記念グッズを作成いたしました。なお、記念グッズの売上の一部は東北大学基金に寄附されました。



スマートミニエコボトル
東北大学と thermo mug のコラボ商品
● 販売価格：1本2,500円（税込）



オリジナル野帳（スケッチブック）
東北大学とコクヨのコラボ商品
● 販売価格：1冊495円（税込）



東北大学115周年記念スカーフ
東北大学とイラストレーター秋山花さん、藤崎百貨店との共同企画
● 販売価格：1枚6,400円（税込）



東北大学115周年記念クッキー缶
「115th Anniversary」
● 販売価格：3,500円（税込）
● 販売個数：HCDにて115缶限定で販売



東北大学ロゴ入りオリジナル手ぬぐい
「Tohoku University & SENDAI MAP」
東北大学と名取屋染工場、藤崎百貨店の共同制作
● 販売価格：600円（税込）



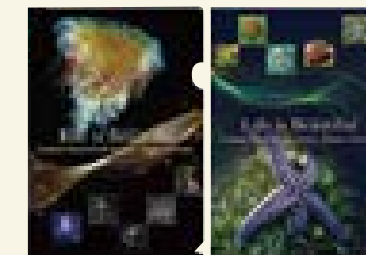
東北大学ロゴ入りハンカチ
東北大学と Hotman、藤崎百貨店の共同制作
● 販売価格：1,100円（税込）
● カラー：ピンクと青の2色展開



**東北大学115周年記念
プレミアムビール-Kawatabi Berry-**
本学川渡フィールドセンターで栽培したブルーベリーを副原料にしたオリジナルクラフトビール。数量限定にて販売。
● 販売価格：1本1,200円（税込）



吾輩は羊飼いである（ミニヨーカン4個入り）
東北大学附属図書館が所蔵する夏目漱石の旧蔵書「漱石文庫」にちなんで白松がモナカ本舗が製作。「吾輩は猫である」を想起させるオリジナルパッケージにて販売。
● 販売価格：800円（税込）



生命科学研究科オリジナルクリアファイル・絵葉書
浅虫生物アーカイブ内の写真をピックアップし、オリジナルクリアファイル・ポストカードを企画制作。
● クリアファイル／販売価格：各176円（税込）
● 絵葉書／販売価格：各132円（税込）

東北大学基金へのご支援のお願い

東北大学の「教育」「研究」「社会との共創」の成果を通じて、
より豊かな未来社会を皆さまと一緒に実現していくため、ぜひご理解とご支援をお願いいたします。

ご寄附の方法

右記QRコードまたは下記URLよりお申込みいただけます。

お申込みURL

<https://www.kikin.tohoku.ac.jp/tohoku/entry.php?fmMode=donationForm>



詳しくはこちら

お申込み手順

- 01 お申込みURL・QRコードにアクセスしてください。
- 02 申込みフォームが開きます。
- 03 寄附の種類・金額（1,000円以上）・住所、氏名等の
必要事項をご入力ください。
- 04 決済方法をお選びください。

\ Access! /



決済方法詳細

クレジットカード決済

下記のカードでのお申込みが可能です。



郵便振替

申込みフォームにてお手続き完了後、払込取扱票を送付いたします。払込取扱票が届きましたら振込のお手続きをお願いいたします。

※ゆうちょ銀行（郵便局）窓口およびATMにて現金でお支払いの場合は、取扱手数料（110円）がかかりますのでご注意ください。（ゆうちょ銀行の通帳およびキャッシュカードでお手続きされる場合は取扱手数料は発生しません。）なお、払込手数料は本学にて負担いたします。

銀行振込

申込みフォームにてお手続き完了後、振込先をメールでご案内いたします。

コンビニ決済

申込みフォームにてお手続き完了後、お近くのコンビニでのお手続きが可能です。

【ご利用可能なコンビニエンスストア一覧】

セブンイレブン・ローソン・ミニストップ・

ファミリーマート・セイコーマート・デイリーヤマザキ

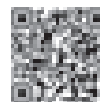
【コンビニ決済上限金額】

セブンイレブン、デイリーヤマザキ：49,000円以内

それ以外のコンビニエンスストア：299,000円以内

Amazon Pay

Amazon Payでもお申込みが可能となりました。Amazonアカウントをお持ちの方は、より簡単にお手続きができます！



詳しくはこちら

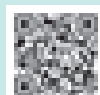
NEW!

マイページ機能のご案内

マイページにご登録いただくと、次回以降のお申込みの際に住所・氏名等の情報のご入力が省略できます。この機会にぜひ、マイページ登録をしてみませんか？

マイページのご登録はこちら

<https://www.kikin.tohoku.ac.jp/tohoku/mypageEntry.php>



ご登録はこちら

【お問い合わせ】

東北大学基金事務局

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1番1号

TEL：022-217-5058・5905 FAX：022-217-5910

E-mail：kikin@grp.tohoku.ac.jp

WEB：https://www.kikin.tohoku.ac.jp/